

外国人登録者数の増加率が

全国一の栃木県で、外国人の

医療・健康相談や医療用語の

対訳表作りなどの活動を続け

ている市民団体「栃木インタ

ーナショナル・ライフライン

(略称TILL)」が、同県

内の医療機関の外国人の受診

状況調査をまとめた。言葉の

壁や、医療費不払いの可能性

があることなどから、外国人

を積極的に受け入れると答え

た医療機関はわずか六%にと

どまっている。

TILLは医師や通訳、ポ

ランティアらが昨年二月に結

成。調査は同県内の医療機関

健康保険に加入していない

外国人患者の医療費は、約半

数が保険点数と同じ十割と定

めている。だが、自由診療に

で、個人病院が多かった。

言葉が通じない外国人はで

きれば受け入れたくないと答

えた機関は四一%。二六%

外国人に不自由な医療体制

朝日 62
3/2

栃木の場合

積極受け入れは6%

市民団体ベ
市調

千カ所を対象に、昨年五―七

月に治療した外国人患者の全

例について尋ね、五百四十四

医療機関から回答を得た。

なるため、二十割以上の負担

を求める所も、総合病院など

を中心に二五%。外国人の負

担軽減を図っているのは七%

は、英語が話せる外国人でも

まったく対応できない、とし

ている。英語以外での診療が

できる機関も一九%あった

が、ドイツ語、中国語、フラ
ンス語に限られている。

一方、三百九十三機関で外
国人を診療しており、その受

診者は約二千百人。アジアが
五四%、南米が三七%を占

め、過半数が二十代だった。
六四%は保険に未加入で、受

診回数平均二・四回、一人
当たりの平均医療費は二万二

千六十円。うち七%が未払い
で、最高三百二十七万五千八

百三十円に上っている。